

# よこひな通信



2月号 平成29年1月31日発行

## いじめ問題

校長 石上信彦

先日、東日本大震災で避難している児童に対するいじめ問題を受け、県の教育長と市町村の教育長が臨時に集まり、今後の取り組みについて申し合わせを行いました。

その中に「いじめの定義を周知するなど、いじめ防止に関して保護者や地域住民の理解を促進する。」という項目がありましたので、保護者や地域の方に向け発信しているこのよこひな通信の紙面を使ってお知らせしたいと思います。

平成25年6月28日、「いじめ防止対策推進法」が公布されました。これは大津いじめ自殺事件が契機となって、法律によっていじめの定義や学校のいじめの対処法を明確化したものです。

この法律を受け、本校でも「いじめ防止アンケート」「いじめ対策等検討会議」等、年間計画に基づき行っています。12月末に「いじめ対策等検討会議」を行いました。幸いにも、昨年度から今年度にかけて、本校の中でいじめは確認されていません。

先月のよこひな通信で触れましたが、本校には相手のことを認め、理解しようとするを旨とした「コミュニケーション」という授業があります。この授業が本校のいじめ防止に役立っているのではないかと思います。「知識をつける」、「技能をあげる」だけではなく、「他者のことを考える」ことも集団がある学校で学ぶ大切なことだと思います。

### いじめの定義

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの

学校ホームページはこちら！！

横浜ひなたやま支援学校

検索

▼毎月1日に「まち comi」登録者に、連絡が正常に到達するかをテストするためのメールを送っています。届きましたら必ず開いてください。送信ができていないかの確認を行っています。

### 2月号の目次

- 校長室より
- 今年度も、昨年度に引き続き教育委員会表彰を受賞！
- 横浜ひなたやま支援学校の防災避難体制
- 御案内
- 2月行事予定

# よこひな通信

2月号臨時号 平成29年2月6日発行



おわび

校長 石上信彦

2月のよこひな通信で「昨年度から今年度にかけて、本校の中でいじめは確認されていません。」

とお伝えしましたが、ある保護者より、「いじめを受けている」というご連絡がありました。

よこひな通信でも触れたように、「いじめ防止アンケート」「いじめ対策等検討会議」で校内の状況の確認をしていたのですが、そのいじめについて、学校として把握できていなかったという事です。大変、残念に思います。

いじめは絶対に許されない行為です。いじめをしている生徒については、その行為についてしっかり見つめ直し、今後の行動について改めてもらいたいと思います。

また、前回のよこひな通信に書いたとおり、本校ではコミュニケーションという授業を中心に他者を理解し、互いに尊重する人間関係を築くことにより、いじめをなくしていくことを目指していきます。

最後につらいいじめを受けていたことを見過ごしていたことを生徒におわびしたいと思います。ごめんなさい。



学校ホームページはこちら！！

横浜ひなたやま支援学校

検索

## 今年度も、昨年度に続き教育委員会表彰を受賞！

今年度も、昨年度の生徒会本部、グリーンサービスユニットに続き、フードサービスユニット、オフィスサービスユニット、そして昨年度のよこひな祭でダンスを披露した有志3名、計3団体及び個人が平成28年度神奈川県教育委員会表彰を受賞しました。

去る12月27日に表彰式が行われました。フードサービスユニット代表の河野さくらさん、オフィスサービスユニット代表の高橋巧さん、ダンス有志の五十嵐裕輝さん、西澤和穂さん、藤田翔太さんが緊張しながらも堂々と表彰状を受け取りました。

フードサービスユニットは、地域の皆様がパンの販売をととても楽しみにしていることで、やりがいを感じ、向上心を持って活動しています。そのパンの販売により地域社会への貢献につながっているということからの表彰でした。

オフィスサービスユニットは、学校、PTA、教育局、関係機関、地域などより幅広く名刺、袋作り、Tシャツなどの注文依頼を受け、製作、販売しています。地域の祭り（サマーフェスティバル）にも率先して参加し、販売するなど、校内活動だけにとどまらず、地域社会や保護者らとの連携を図っていることからの表彰でした。

そして、よこひな祭で有志によるダンスを披露した五十嵐裕輝さん、西澤和穂さん、藤田翔太さんは、自主的に計画や準備を進め、その成果を披露することで周りの生徒に「次は自分も」という気持ちにもさせたことへの表彰でした。

今回、表彰された団体及び個人が学校の代表として受賞できたことは、よこひなの誇りとなります。こうした良い伝統を大事にしていきたいと思います。



## 横浜ひなたやま支援学校の防災避難体制

1月19日に今年度、4回目の防災避難訓練が行われました。今回は、大地震、火災発生を想定した訓練でした。本校に設置されている緊急地震速報装置を使って、訓練用の緊急地震速報を放送で流し、大地震発生、その後、火災発生を想定して避難しました。

本校の防災教育は、生徒には、助けられる側としてだけでなく、自分の身を守ることと周囲の人を助けることを学習させ、防災訓練に加えて防災教育を実施し、防災に対する意識をさらに高めることを目標とし、年間計画に位置づけ、安全な生活を考える学習の機会として設定しています。また3年に一度は保護者の協力を得て、引き渡し訓練を行っています。

年4回の防災避難訓練以外にも非常食の喫食体験、消防署の指導によりAEDを含む救急法の学習、消火器の使い方の学習、煙体験などを行っています。

そういった活動の成果がその都度生徒に表れています。グラウンドへの避難ではみんな落ち着いて速やかな行動ができ、毎回、校長先生からもほめられています。また、生徒の中には、次はこういう行動をしようとして声に出して行動するリーダー的な存在が自然と出てきています。

そして、本校は横浜市の地域防災拠点に指定されており、非常時には体育館などに近隣の方が避難することになっています。地域の防災会議、防災避難訓練にも本校の職員が参加して、地域との連携を図っています。

避難生活を送る上で最低限必要なものも一人分ずつ常備しています。



防災避難訓練より



避難グッズの一部(3日分の食料、飲料水、防寒・防熱用ブランケットが収められています)

### 御案内

#### ▶ パンの販売

2月10日(金) 11:30~12:00 本校  
2月17日(金) 11:30~12:00 本校

